

第3学年*組 平成23年9月*日(*)第*校時		国語科学習指導案 3年*組教室		指導者 ** **
育成する国語の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり，必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</li> <li>文章に描かれた人物，情景，心情などを表現に即して読み味わうこと。</li> </ul>			
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文学的作品を的確に読むことについて関心を深めている。(関心・意欲・態度)</li> <li>○ 人物，情景，心情の描写などを本文を根拠に的確に捉えることができる。(読む能力)</li> <li>○ 作者の人物像を含めた作品の背景について理解することができる。(知識・理解)</li> </ul>			
単元の評価規準	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
	①文学的作品を的確に読むことについて関心を深めようとしている。	①書き手によって設定され，表現された人物の状況，その人物が行動する場面の情景を本文を根拠に的確に理解している。 ②人物の心情の推移などを本文を根拠に的確に把握している。	①作者の人物像及び作品の背景についての知識を便覧等で調べ，理解している。	
取り上げる言語活動	人物の生き方や，その表現の仕方などについて話し合う。			
題材(教材)	「舞姫」 森鷗外 精選現代文改訂版(大修館書店)			
単元(教材)について	<p>(1)教材観：高校国語で学ぶ最後の文学的作品であり，クラシカルな教材である。これを登場人物の心情等を本文に根拠付けて把握することにより客観的な読みの力を養う。</p> <p>(2)生徒観：王道的な小説として「羅生門」「山月記」「こころ」等も学習済みで，小説を読むことに抵抗はないものの，主観によるあまり，客観的な読みができていないのが現状である。</p> <p>(3)指導観：登場人物，特に主人公の心情把握の箇所においては，従来までの小説の授業よりも意識をして本文中に根拠を求めるようにする。</p>			
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価	
	1 便覧等を使い作者・森鷗外の人物像及び作品の書かれた時代背景について理解を深める。 (第1時)	2 単元の教材文を通読し，主人公である太田豊太郎の心情の推移を把握する。 (第2時)	3 2を行った上で豊太郎の思いや行動の根拠を本文中から指摘する。 (第3～5時)	4 3のような読みをしながら，択一問題演習をし，本文に根拠をもち解答していく。 (第6時)

本 時 案 （第2次の第1時）		
<p>本時の目標</p>	<p>○ 小説「舞姫」を積極的に読み，作品に対する関心を深めようとしている。（関心・意欲・態度）</p> <p>○ 主人公である太田豊太郎の人物像を，本文の叙述を根拠にしながら捉えることができる。（読む能力）</p>	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
<p>1 前時に学習した，作者・森鷗外について，作品「舞姫」の背景等について確認する。</p> <p>2 本時の目標を確認する。</p>	<p>○前時の内容を，質問しながら生徒に発表させ，確認する。</p> <p>○目標を板書する。</p>	
<p>小説『舞姫』の前半部分における主人公の人物像を，本文を根拠にした的確に把握する。</p>		
<p>3 教師の範読を聞く。</p> <p>4 便覧等を参考にしながら，前半部分における主人公の人物像や心情の描写などを本文を根拠に的確に捉える。</p> <p>①本文から主人公の人物像に関する描写を抽出して，ノートにまとめる。</p> <p>②まとめが終了したら，他の生徒と書いた意見を交換し合う。</p> <p>5 全体で確認し，まとめた主人公像が自分の当初に書いたものとどれだけ合致していたか自己評価する。</p> <p>6 次時の予告を聞く。</p>	<p>○前半部分（始め～p 310中）を範読する。</p> <p>○範読の際，形式段落ごとに区切り，難解な語について生徒を指名し，意味を確認する。</p> <p>○前半部分の範読終了後，生徒に時間を与え，まずはここまでの叙述から主人公の人物像をまとめさせる。</p> <p>○机間指導をしながら，生徒がまとめている内容が本文を根拠にしているかを点検する。</p> <p>○まとめ終わった生徒同士で意見を交換し合う時間も設けられるようにする。</p> <p>○自分の当初に書いたものとの違いや，どうしてそのような意見になったのかを説明させ合う。</p> <p>○まとめたものを全体の前で発表させ，そのまとめが本文を根拠にしたものかどうかを全体で確認する。</p> <p>○他者と自分の意見との違いに注目するようにさせる。</p> <p>○本時の確認をし，次時の予告をする。</p>	<p>○的確な理解を深めるため，積極的に用語の確認をしている。</p> <p>（関心・意欲・態度）</p> <p>《質問の確認》</p> <p>〈確認ができない生徒には，便覧等の使い方を示し見方を教え，意欲をもたせるようにする。〉</p> <p>○主人公・太田豊太郎の人物像を，本文の叙述を根拠にして捉えている。</p> <p>（読む能力）</p> <p>《記述の点検》</p> <p>〈誤った捉え方があった生徒には，誤りの根拠を示し，また上手く捉えられない生徒にはヒントを与える。〉</p>